

新型コロナウイルス感染症に 関連する局の取組みについて

経過

【2月～3月】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、開催予定していた研修会等すべて中止

【4月7日：緊急事態宣言発出】

コーディネーター連絡会の開催ができない状況の継続

【5月7日：緊急事態宣言延長】

コーディネーターから、各区の現場での困りごと等の連絡・相談

取組み

【5月20日】

各区の取組みや相談事例について、報告書等から取りまとめ24区へ情報提供・・・資料3-2

【5月21日～6月12日】

24区在宅医療・介護連携相談支援室を訪問し現状確認・・・資料3-3

【6月18日】

コーディネーター連絡会を2グループに分けて開催し、情報共有

【8月 7日】

コーディネーター連絡会 3区の取組み報告と意見交換

開催中止

コーディネーター連絡会の開催について

① 令和2年6月18日（木） ※ 2グループに分けて、2回開催

【内容】

・情報提供

➡ 新型コロナウイルス感染症について、PCR検査、入院調整について等、経過や現状説明

・グループワーク

➡ 新型コロナウイルス感染症に関して～各区の状況・取組みについて～ 情報交換

② 令和2年8月7日（金） ※ 24区を参集

開催中止

【内容】

・取組み報告（3区）

➡ 新型コロナウイルス感染症に関連した相談支援室の取組み紹介

・グループワーク

➡ 今後どのような取組みができるのか意見交換

コーディネーター連絡会アンケートより《意見・感想》

①情報交換 新型コロナウイルス感染症に関して～各区の状況・取組みについて～

- ・このような事態だからこそお互いの活動を早期にもっと共有できればと考えている。
- ・区によって取り組んでいる内容がいろいろあり、情報提供頂いて役立った。
やはり、具体的な事例を聞くのが大変役立つ。
- ・各々のコーディネーターが悩みながら活動していたことがよくわかった。コーディネーターとしてできる事を模索しながら連携強化に向けて皆さんが取り組んでおられ、とても参考になった。
- ・各区が今まで培ってきた在宅医療・介護連携を基に新型コロナ感染症に対する取り組みをしており、各区の特徴を改めて知ることが出来た。
- ・思うように活動ができない中、各区専門職が孤立しないように様々な取組みをしておられ大変参考になった。

②その他

- ・みんなの顔を見て意見交換できることはやはり大事だと感じた。
今後は状況によってオンライン（Web会議）も検討してはどうか。
- ・オンラインの限界を感じ、直接顔の見える研修の効果を改めて感じる。